

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年6月9日

計画の名称	矢掛町地域住宅等整備計画									
計画の期間	平成29年度～令和3年度（5年間）			交付対象	矢掛町					
計画の目標	公営住宅等の計画的な改善、「不良空き家」の計画的な除却、及び「空き住宅」の活用により、安全で安心な住まいづくり・まちづくりを推進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公営住宅等の長寿命化対策の推進（長寿命化計画の達成率の増加）</li> <li>空き家対策（不良住宅の除却）の推進</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H29当初)	中間目標値		最終目標値 (R3末)	
①	矢掛町公営住宅等長寿命化計画で建替・改善・用途廃止と判定された戸数に対する改善等事業実施戸数の割合					0%		60%		
②	「不良空き家」の除却目標棟数（10棟）に対する除却済み棟数の割合					0%		100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	542百万円	A	542百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
矢掛町建設課内で実施	令和4年6月
	公表の方法
	矢掛町HPで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1	R2	R3		
1-A-1	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業（公的賃貸住宅家賃低廉化事業）	公的賃貸住宅家賃低廉化事業（22戸）	矢掛町						83	
1-A-2	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	外壁改修，屋上防水等（57戸）	矢掛町						99	
1-A-3	住宅	一般	矢掛町	間接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業）	空き家再生等推進事業（除却10戸）	矢掛町						0	
1-A-4	住宅	一般	矢掛町	間接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業）	空き家再生等推進事業（活用2戸）	矢掛町						8	
1-A-5	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業）	小林住宅建替事業	矢掛町						351	
1-A-6	住宅	一般	矢掛町	直接	矢掛町	地域住宅計画に基づく事業（災害公営住宅家賃低廉化事業）	災害公営住宅家賃低廉化事業（1戸）	矢掛町						1	
合計												542			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1	R2	R3		
合計															
C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1	R2	R3		
合計															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・小林住宅の建替およびコーポさくら、コーポ小田の長寿命化改善により、トータルコストの縮減が図られている。

II 定量的指標の達成状況

指標①  
公営住宅等の長  
寿命化対策の推  
進（長寿命化計  
画の達成率の増  
加）

最終目標値

60%

目標値と実績値  
に差が出た要因

平成30年7月豪雨災害からの復旧事業の実施を優先したため、目標値には届いていない。

最終実績値

47.3%

指標②  
空き家対策（不  
良住宅の除却）  
の推進

最終目標値

100%

目標値と実績値  
に差が出た要因

空き家の所有者に適切な管理を呼び掛けた結果、民間での除却が進んだことにより、補助事業による除却の実施には至らなかったため。

最終実績値

0%

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

・空き家再生等推進事業により1戸を活用して矢掛町おためし住宅を整備したことで、移住の促進につながることを期待される。

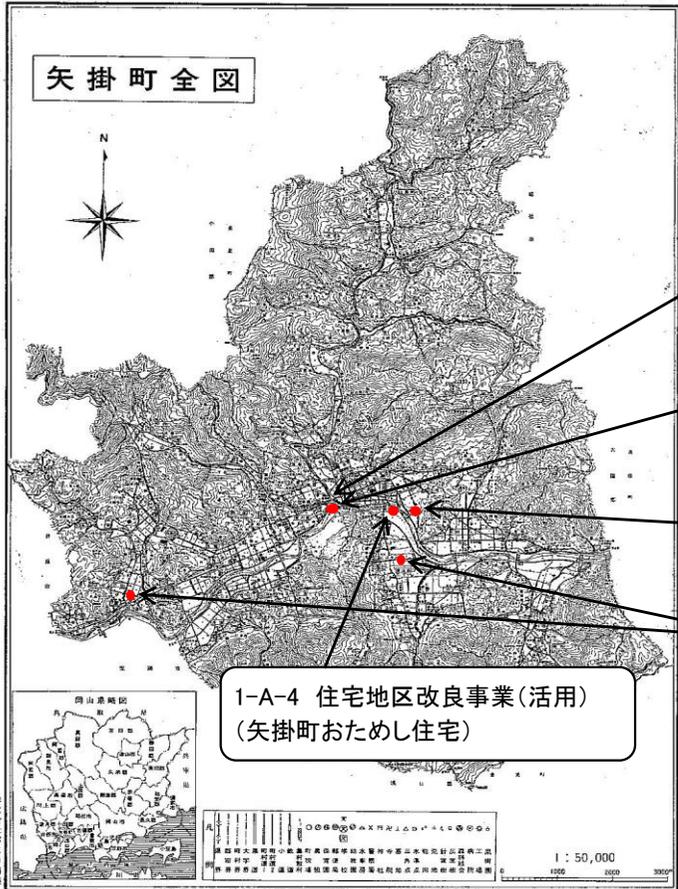
3. 特記事項（今後の方針等）

- ・今後も、長寿命化計画に基づいて長寿命化対策を行っていく。
- ・空き家対策については、今後も、空き家の所有者への働きかけを積極的に行い、1件でも多く除却へつながるように努力する。

(参考様式3)

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	矢掛町地域住宅等整備計画		
計画の期間	平成29年度～令和3年度(5年間)	交付対象	矢掛町



- 1-A-1 公的賃貸住宅家賃低廉化事業
- 1-A-2 公営住宅等ストック総合改善事業
- 1-A-3 住宅地区改良事業
- 1-A-4 住宅地区改良事業
- 1-A-5 公営住宅等整備事業
- 1-A-6 災害公営住宅家賃低廉化事業

1-A-5 公営住宅等整備事業  
(小林住宅建替事業)

1-A-1 公的賃貸住宅家賃低廉化事業  
(新小林住宅)

1-A-6 災害公営住宅家賃低廉化事業

1-A-2  
公営住宅等ストック総合改善事業  
(コーポさくら, コーポ小田)

1-A-3 住宅地区改良事業(除却)

1-A-4 住宅地区改良事業(活用)  
(矢掛町おためし住宅)

## 社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	矢掛町地域住宅等整備計画 矢掛町地域
② 都道府県名	岡山県
③ 計画作成主体	岡山県矢掛町
④ 計画期間	平成 29 年度 ～ 令和 3 年度
⑤ 計画の目標	公営住宅等の計画的な改善, 「不良空き家」の計画的な除却, 及び「空き住宅」の活用により, 安全で安心な住まいづくり・まちづくりを推進する。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	矢掛町建設課内・令和 4 年 6 月
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：「公営住宅等の長寿命化対策の推進（長寿命化計画の達成率の増加）」            定義：矢掛町公営住宅等長寿命化計画で建替・改善・用途廃止と判定された戸数に対する改善等事業実施戸数の割合            評価方法：完了実績報告書で確認            結果：従前値:0%（平成 28 年度）⇒目標値:60%（令和 3 年度）⇒実績値:47.3%            結果の分析：平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧事業の実施を優先したため、目標値には届いていない。</p> <p>指標②：「空き家対策（不良住宅の除却）の推進（除却目標棟数：令和 3 年度までに 10 戸）」            定義：除却を推進すべき区域内における不良住宅の除却目標棟数に対する除却済み棟数の割合            評価方法：完了実績報告書で確認            結果：従前値:0%（平成 28 年度）⇒目標値:100%（令和 3 年度）⇒実績値:0%            結果の分析：空き家の所有者に適切な管理を呼び掛けた結果、民間での除却が進んだことにより、補助事業による除却の実施には至らなかったため。</p>
⑧ 結果の公表方法	矢掛町 HP で公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	<p>（事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画に反映すべき事項や目標を達成するための措置等を記載。地域住宅協議会等において協議を行った場合はその旨を記載。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、長寿命化計画に基づいて長寿命化対策を行っていく。</li> <li>・空き家対策については、今後も、空き家の所有者への働きかけを積極的に行い、1 件でも多く除却へつながるように努力する。</li> </ul>
⑨ その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。